



# みかた

三方原中学校だより  
令和5年度  
第22号  
(R06.02.29)

## 学校評価アンケートの実施を受けて

校長 佐藤 安彦

今年度は、5月以降、コロナ禍で制限されていた教育活動を、生徒の実態や保護者・地域の願い、コロナ禍での様々な経験を踏まえて、その都度工夫しながら実施してきました。12月に行った学校評価アンケートは、生徒はタブレットで、保護者の皆様にはさくら連絡網で回答していただきました。本校の教育活動に貴重な御意見をいただきましたことに感謝申し上げます。アンケート結果につきましては、学校運営協議会に結果を公表して御意見をいただき、生徒にとってより安心して過ごせる学校、学びやすい教育環境の向上につなげていきたいと思っております。以下に、アンケートの考察を記載いたします。



【読み聞かせ】

4択<そう思う・大体そう思う・あまり思わない・思わない>

### 1 生徒アンケートから

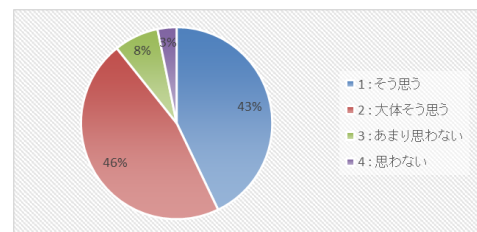
○ 全体的に肯定的な回答（そう思う・大体そう思う）が多くみられました。昨年度のアンケートと比較すると、ほぼ同様の結果となっています。生徒たちは授業や行事、部活動等に意欲的に取り組み、落ち着いて学校生活を送っていると答えています。生徒同士や生徒と教員の関係も概ねよいといえると思います。

一方、満足度が低いのは「勉強が分からない時には、先生に聞く事ができますか」と「家庭学習を毎日していますか」の項目です。（あまり思わない・思わない）はそれぞれ30.9%、37.1%となっています。家庭学習は自主的な学習であり必ずしも学校が担うことが必須ではないものの、授業以外での学習意欲を喚起させる支援や手立てを行うことは学校の責務の一つといえ今後の課題です。また、分からない時に先生に聞く事ができない生徒が3割を超えていることをしっかりと受けとめ、相談できる機会（時間的保障）の確保や教師側の受け入れ態勢を整えていきたいと思っております。

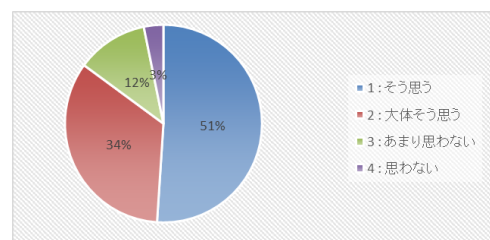
生活面については、「あなたは、困った時などに先生に相談することができますか」の項目で、（あまり思わない・思わない）は30.3%です。これは、学習面で先生に聞く事ができていないことと同様に、相談を受ける機会（時間的保障）の確保とともに、生徒との信頼関係の構築により一層力を入れていきたいと思っております。

「あなたのクラスは楽しく、教室は安心できる場所ですか」の項目で（あまり思わない

### 【設問3】



【設問3】 あなたは、学校生活に満足していますか。 89.3%



【設問10】 あなたのクラスは楽しく、教室は安心できる場所ですか。 85.1%

・思わない)は14.9%です。これはクラスの数人は安心できないと言っていることになり、この数字を重く受け止め、今後は学級への所属感を高める手立てを図っていくとともに、いじめ防止基本方針に則り、いじめの未然防止の観点からも楽しく安心な学級づくりの手立てを工夫していきたいと思います。

「学校全体として、さわやかなあいさつが友達や先生にできていますか」の項目では(そう思う・大体そう思う)は89.5%おり、さわやかな挨拶が実践できているといえます。

健康安全面では、「あなたは、健康に留意し、規則正しい生活ができましたか」の項目で(あまりそう思わない・思わない)は、17.9%に上っています。このことは心身の成長はもちろん学習面にも影響が及ぶことであり、家庭と連携し規則正しい生活の推進を図っていきたいと思います。

特別活動の面では「学校行事に友達と協力して一生懸命取り組みましたか」の項目では、(そう思う・大体そう思う)は96.3%に上っています。今後も協力性を伸ばすとともに生徒の達成感を高められるような実りある行事にしていくように工夫していきたいと思います。同じく、「あなたは、目標をもって部活動や校外活動に取り組んでいます(いました)か」の項目では、(そう思う・大体そう思う)は94.9%に上っています。今後も生徒に目的意識を持たせて、活躍の場面を与えていきたいと思います。

## 2 保護者アンケートから

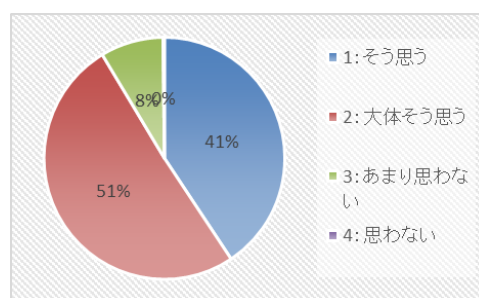
### 【設問10】

○ ほぼ全ての項目で、昨年度より肯定的な回答が多く見られました。特に設問10の項目では、肯定的な回答の割合が増えました。昨年度いただいた御意見をもとに、今年度はさくら連絡網の活用等に努めました。今後も有効に活用していきたいと思います。

「学校は、学校行事に一生懸命取り組めるよう支援している」との回答が96.3%と高く評価していただきました。インフルエンザの流行により二大行事の日程の変更を余儀なくされましたが、保護者の皆様の御理解のもと、生徒の頑張りを評価していただき本当にありがとうございます。

「学校は、生徒が力を伸ばす教育に努めている」

85.9%、「学校は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている」80.6%、「学校は、いじめのない学校、学級、集団づくりに取り組んでいる」86.8%、「学校は子どもが困ったときに力になってくれる」83.5%等、肯定的な回答の割合が高くなっていますが、決して安心できる結果ではないと思っていますので、引き続き、信頼される学校づくりに努めていきたいと思います。



【設問10】学校は、さくら連絡網や学年だより、その他の方法で情報をよく発信している。  
91.3%

自由記述式の設問では、工夫した二大行事の開催や、さくら連絡網等による情報発信等を評価する御意見をいただきました。一方、交通マナーの指導や教員のきめ細かな生徒指導、基礎学力の定着を促す授業、家庭学習の充実等についても様々な御意見をいただきました。できる範囲で今後の教育活動に生かしていきたいと思います。インフルエンザ等の学級閉鎖等の連絡につきましては、最初に該当の学級の保護者の皆様に連絡した後、学年を明示して全校に連絡をしていますので御理解をいただきたいと思います。

今後も、校訓「大地に育め 自立 共生」のもと、生徒の自己肯定感と主体性の育成を目指して、地道に日々の教育活動に取り組んでいきたいと思います。引き続き、御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。